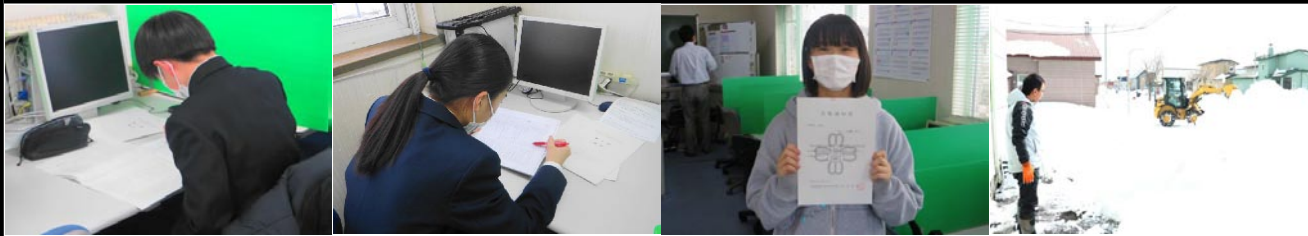


ホップ・ステップ



第162号
2020年4月1日発行



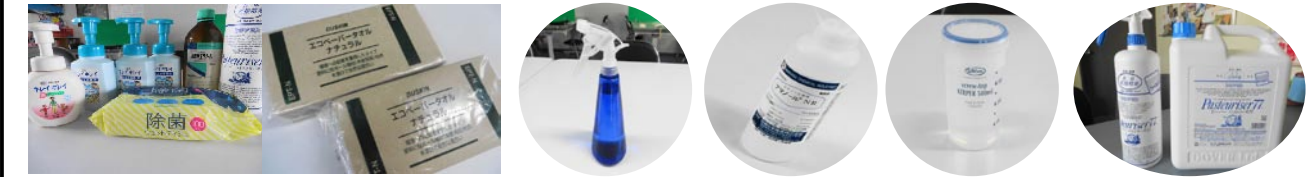
3/4 人生で一番の緊張、入試後の自己採点

うれしい合格証書

3/6 の大雪、初めて業者に依頼



3/5 から授業スタート 換気(湿度0%)に、消毒、手洗い、マスク、生徒間隔。細心の注意をして。消毒液の差し入れありがとうございます。



新しい指導要領に向けてテキスト類 256 kg を廃棄。在庫の教材を新2年生にあげました。

以下は春期講座のようす。



高校生も春休みの勉強！（右）



久々の北見看護大3年の富岡さんが。21期生の小原君と6期生の野澤君 6期生の菅原君、悠君の迎えに

令和2年度がスタート
6日から新学期ですが、コロナウイルス感染の混乱で先の見えないまま新年度が始まりました。釧路地方に感染は広まっていますが、まだまだ注意が必要ですね。これから先、学校の授業がどうなるのかは分かりませんが、塾は細心の注意をしながら出来る限り通常通りの授業を行う予定です。
この先の社会がどうなるのか、経済は回復するのか、このことは皆の将来に大きく関わってくると思います。学力だけでは通用しない大きな時代変化の中で、今できることは一生懸命取り組むこと以外にありません。塾としても、いろいろな新しい取り組みを考えていきたいと思っています。

釧路市標準学力検査 中学数学依然低調
釧路市教育委員会は、昨年12月に市内の市立学校に通う小学3年生、中学2年生を対象に実施した或路市標準学力検査の結果を公表した。小学生の平均正答率はほぼすべての学年、教科で目標と同程度か上回る結果となった。一方、**中学では課題とされてい**る**数学の正答率が6割を切る**など依然として低調。明暗が分かれる形となり、市教委では新年度スタートする事業などで中学を中心に学力向上を目指している。
同検査は子供たちの学力を把握して、より良い指導に生かそうと12年度から始まった。教科は国語と算数・数学。問題ごとに目標となる正答率を定めて

実際の正答率と比較し、どの分野が苦手かなどを探る。今回は小学校26校、中学校15校の約6700人が受験した。
小学校の国語では、敬語の使い方を答える**問題で6年生の6割以上が正解**できないなどの課題も見られた。
中学校では、目標を上回ったのが1年国語のみ。国語は作文に関する問題のほとんどが目標より低く、2年生では指定された文字数で書く問題の正答率が10ポイント近く下回る55%だった。数学は多くの分野で目標を下回り、**1年生の文章を読んで1次方程式を導き出す問題の正答率は17.7%。無解答率も35.1%に上った。**
市教委は中学生については「繰り返し学習や学

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
	休塾			休塾							休塾							休塾											
	昭和の日																												
<p>道コン集合時間は9:15までに！コンパス、定規、昼食を忘れずに</p> <p>ストップ 過保護・過干渉！</p> <p>一日に一度はR-GROUPの確認をお願いします。</p> <p>4月の予定</p>																													

学年	教科	目標値 (%)	正答率 (%)	目標比 (%)
小学校	3年 国語	71.1	70.4	▲0.7
	3年 算数	69.3	68.8	▲0.5
	4年 国語	71.8	76.9	5.1
	4年 算数	67.7	70.4	2.7
	5年 国語	69.8	72.3	2.5
	5年 算数	60.3	60.4	0.1
中学校	6年 国語	67.5	68.4	0.9
	6年 算数	72.1	71.7	▲0.4
	1年 国語	64.7	66.1	1.4
	1年 数学	60.4	56.9	▲3.5
2年 国語	65.0	62.7	▲2.3	
2年 数学	57.1	52.8	▲4.3	

※▲はマイナス

入試最前線 2020 変わる就職事情、多浪や年齢は不問

東京医科大の医学部入試で一昨年、女性とともに、3浪以上の男性にも不利な得点操作が行われていたことが発覚した。かつて「3浪以上は就職が不利になる」といわれていた時期もあり、親世代なら浪人を重ね、留年でもしたら将来どうなるのかと気になるところ。現在の就職採用試験で長期浪人は不利に働くのだろうか。

「門前払いはない」

「浪人や留年をしているからといって、エントリー段階で落とされることはまずありません」。求人サイトを運営する「アイプラグ」(大阪市)の代表取締役CEO、中野智哉さんは断言する。

同社では、企業から新卒の学生に直接オファーを送る求人サイト「オファーボックス」を運用。学生はあらかじめ自分のプロフィールを入力するが、そもそも浪人や留年の有無、年齢を書き込む欄がない。「大学は最長で8年間在籍できるところが多いですが、何に時間を使ったのかが重視される。海外で働きながら世界をまわっていたなどの理由なら、プラスにとらえられることもあります」

大学名で採用は減少

親世代なら、より偏差値の高い大学を卒業すれば、就職も有利と一考えがち。だが、近年では、企業側が大学の偏差値で学生を選別することすら減っているという。中野さんは「東大卒や京大卒であれば、知識量や勉強をやりきる力があるという評価はされやすいでしょう。ただ、それはサッカーや野球で全国優勝したという経歴と同種の話です」と説明する。

中野さんによると、かつて学歴が就職に直結した時代は高度成長期で、情報処理能力が問われる仕事が多かった。学歴の高い人材はそうした能力にたけているため評価されたという。だが近年は、単純作業はコンピューターが行い、社員に求めるのは新しい価値を生む発想力。また、学歴の高さと仕事での活躍に相関関係はないという研究が数多く発表され、大学名を採用で考慮する企業は激減したという。

大学で何を学んだか

「大切なのは、大学で何を学んだかです」と中野さん。その点では、大学名よりも学部が重要だという。現在は情報系や建築・土木系、電子・機械系が人手不足で、専門学部や高等専門学校で即戦力となれる技能を身につけていれば就職に有利だ。一方で、営業・販売などのビジネス系は「どの学部を出ると有利、または不利という差はありません」とも。

さらに、中野さんは「新卒採用の面接で見られるのは、学歴や学力よりも、体力や忍耐力、集中力、バランス感覚といった“基礎的人間力”です」と強調する。さまざまな人に会い、日々の生活で意識することや、人に負けない何かをやり遂げることが、評価につながりやすそうだ。

産経新聞 2020.1.29



釧路高専の

教育目標

1. 人格をそなえ、自己を律する人物を育てる
2. 広い視野を持ち、創造力豊かな技術者を育てる
3. チャレンジ精神に富んだ人物を育てる

学習目標

- A (技術者として社会に貢献するために) 人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球的規模で社会問題や環境問題を考える能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する能力を身につける。
- B (地域社会に貢献するために) 実践的な体験を通して、地域の産業や社会の抱える課題に対処できる能力を身につける。
- C (多様な技術的課題を解決できるように) 工学の幅広い基礎知識(数学、自然科学、情報技術、基礎工学など)を修得し、それらを活用する能力を身につける。
- D 技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを活用する能力を身につける。
- E 多様な技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決するデザイン能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をこなす能力を身につける。
- F 文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる能力を身につける。すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。
- G (技術の進展や社会の変化に対応できるように) 継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

以上のように釧路高専の学習目標は、実社会で対応できるように明確に示されている。これらを実践するには、学生の意識が非常に重要になってくる。

それは「制服なし、校則なし」という環境で、学生が「自己責任」の意識を持つことで成り立っている。

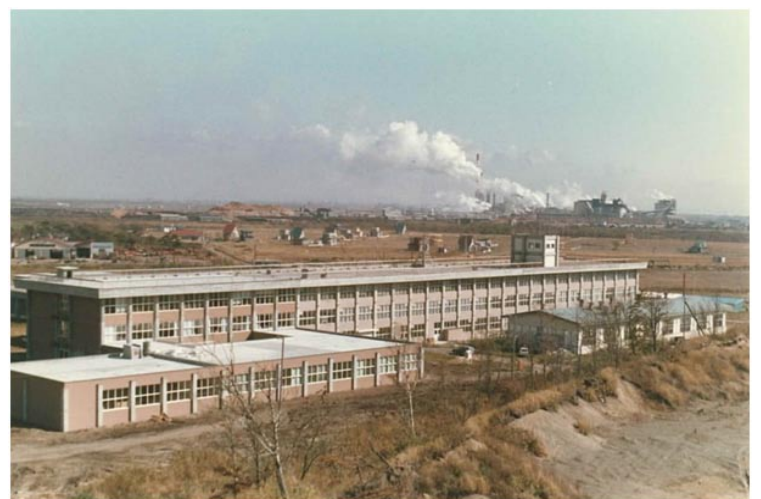
そして、それは今から50年以上も前に確立したものだ。市内の公立高校では、湖陵高校でさえ、いまだに「制服・校則」があり、明輝高校のようにブレザーを忘れただけで、異装届に反省文。時代錯誤も甚だしい。

「過保護に校則」で、すざましい変化のAI時代を、グローバル社会を、子どもたちは生きていけるだろうか。読解力が問題になっている日本の子どもたちに、小学生から英語やプログラミング、無意味とは思わないがこんな時代の教育とは何かを真剣に考えなければならない。



釧路高専 昭和43年の航空写真。

校舎の周り何も無い。まわりも団地があるあたりも、整地はされているが、何も無い。校舎も専攻科棟、4号棟(低学年棟)もまだない。そればかりか、3号棟(情報棟)も無い。学生寮も少し小さい体育館も一つ。



昭和47年の校舎。周りにはちらほら家が建ってきた。



校舎側から見た前庭。池の周りが整備されていて、ベンチが置いてある。正門の前にはまだセイコーマート前身のしまや商店もまだできていない。

現在の釧路高専

